

うえだ 環境市民会議 News

第26号
ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16

上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

第15回うえだ環境市民会議が開催されます

日 時：平成20年6月14日(土)

午後1時30分から午後4時ごろまで

場 所：市民会館 2階大会議室

会議内容：①環境講演会

「みんなで防ごう温暖化！！～地球温暖化の現状～」

講師 長野県環境政策課 近藤浩氏

②平成19年度事業、決算報告

③平成20年度プロジェクトチーム実施計画

④環境博士認定式

⑤その他

入場は無料です。上田市にお住まいの方、お仕事をされている方で環境に関心をお持ちのかたは、どなたでも参加できますのでご近所お誘い合わせのうえご参加ください。

上田市環境基本計画ができました！

現在、地球規模での環境への関心も高まる中、地域の自然を守り・育み・後世に残していくことは、現在(いま)を生きる私たちの責務でもあります。

このような状況を踏まえ、平成19年3月に上田市の環境保全に関する基本理念をまとめた『上田市環境基本条例』を制定しました。ここに示された理念を実現するため、合併後の新上田市における環境保全及び環境分野

の最上位計画として「上田市環境基本計画」を策定しました。(詳細は、上田市のホームページでもご覧いただけます)



足跡を振り返りながら

うえだ環境市民会議議長 柴崎茂利

地球温暖化防止京都会議から10年が経ち、地球温暖化が人類に及ぼす影響の大きさに、京都議定書に反対している人や無関心を装っている人を含めて「地球規模の課題」と認識されてきました。2007年ノーベル平和賞を受賞した元アメリカ副大統領アル・ゴア氏の「不都合な真実」に見る地球温暖化の現実や、国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)による2007年2月公表の第4次評価報告書では、「温暖化の原因は、人為起源に

よる温室効果ガスの増加である」とし、過去100年で、地上平均気温は0.74℃上昇したとしています。

地球温暖化は「ゆでガエル現象」に近いものと思います。でも、ちょっと感覚の鋭いカエルいや人間が「叫んでいる」「警告を発している」と考えてみましょう。この声を聞いて私たちはどうしますか？ 私たちの出来る事は極めて小さな事でしょう。極めて小さい事ですが、「千里の道も一歩から」「チリも積もれば山となる」こんな言葉もあります。私たちは小さな出来る事から始め継続しましょう。そして、活動する仲間を誘い、その活動の輪を広めましょう。

うえだ環境市民会議は、このような活動を期待して運営してきました。まだまだ小さな輪ですが、小さいからこそ、大きくなる可能性があります。私たちの地球です。私たちが守りましょう。

第14回うえだ環境市民会議(3月22日)に参加して 金井深

環境と聞いて地球温暖化防止やごみ問題などかた苦しい会議ではないかとの予断を持っていましたが、講師の小金怜子さんのお話やプロジェクトチームの発表をお聞きして、特徴のあるテーマについて出来るところから取り組んでおられ、とても身近に感じられました。小金さんが手作りの省エネグッズを活用して実践されているお話しは、私が日頃女房殿から口うるさく注意されているいくつかとも重なり、もう少し協力して実行しなければと再認識させられる数々でした。プロジェクトチームは思ったより少人数で活動されていてびっくりしましたし、内容もごみ減やCO₂減などに加え、自然豊かな里山づくり、うえだ洋館物語、子供のための環境紙芝居など多岐にわたりとても興味深いものでした。

私の通勤手段は徒歩と電車ですが、歩いて気分の良い環境だけをとらえてみても、道にゴミが落ちていない、家々の庭の花がきれい、会う人と挨拶をし合える、車の運転マナーが良いなど、日本人が他の国々から尊敬されてきた、清潔で礼儀正しく親切な面を再構築するだけでいいように思われます。若い人達の変わり様を嘆くのではなく、率先垂範してこの地域に暮らしている幸せを実感できる環境づくりに協力したいと感じています。

うえだアースデイ

実行委員長 直井保彦

上田でアースデイを開催しようと思ったきっかけは、友人の「アースデイに東京に行く」の一言からだった。アースデイは個々様々な解釈があるが、地球を思う1日に、わざわざ東京まで行っていたら本末転倒だ。アースデイは他のイベントとは違い、「アースファースト」を第一に考え、各地域で小規模に、地域の自然、人、文化が繋がれたらいいと思う。

それを実現したく声を挙げた。場所は縁の深いおひさまクラブにお願いした所、快諾して下さった。実行委員会を立ち上げ、自分達が楽しみたい様に企画した。「私は子供達と絵を描きたい」、「私は裏の竹林が荒れてるから竹を使って何かしたい」、「僕は普段の活動をアピールしたい」等、様々な案が出た。皆、得意分野で好きな事だったので、大変な準備もあったが生き活きしていた。「アースデイまでを楽しもう」と言う皆のもくろみは成功した。

当日(4月27日)は、天候にも恵まれ矢代一重山太鼓のオープニングで幕を開けた。別所線に乗ってアースデイに行こう!!とアピールしたかいがあり約50人も別所線で来てくれた。当初心配していた駐車場はがらがらだった。ふと辺りを見回すと、スタッフもお客さんもライブをする人もブース出店者も見分けが付かずつろいでいた。「普段の暮らしもこの位ゆっくりだったらな」なんて思った。ライブの演奏も自然と流れてくる、そんな雰囲気だった。最後は皆で輪になり歌い踊った。何が必要な訳ではない、皆がいて歌い踊ればこんなに楽しいんだと純粋に思った。アースデイで人と人がつながった。来年はまた輪が広がりゆるやかな楽しい会が出来そうです。

